市長の

やまがた自慢

「姉妹都市ボルダー市」



先日、山形市の姉妹都市の一つである、アメリカのボルダー市を市民訪問団として訪問しました。山形市とボルダー市は1994（平成6）年4月に姉妹都市の盟約を結び、以来、市民相互の往来をはじめ、山形市ボルダー友好協会や山形北ロータリークラブによる現地団体との交流など、さまざまなかたちで友好交流を深めてきました。現在もボルダー高校の学生が山形市の高校に留学に来ています。

このたびは、コロナ禍で延期されていた、姉妹都市締結30周年を記念しての市民訪問団となりました。ブロケット市長をはじめ、ボルダー市の皆さんからは温かい歓迎をしていただきました。

ボルダー市は人口約10万人。コロラド州の州都デンバー市郡から車で1時間程度です。環境と治安が良く、全米でも「住みたい町ランキング」で上位に位置する都市で、コロラド大学ボルダー校を中心とした大学街でもあります。西にはロッキー山脈が連なり、スキーや登山などアウトドアスポーツも大変盛んです。

今回の訪問では、歓迎会やボルダー高校訪問、ボルダーバレーロータリークラブ例会への参加、自然保護地域マッド・レイクの視察、また、各ご家庭にて少人数で夕食をご一緒するホームビジットなど、多くの実のある交流をすることができました。今後も友好の絆を深めていきたいと思います。

山形市長　佐藤孝弘



ボルダー高校にて



ブロケット市長と

山形市動物愛護センター「わんにゃんポート」には、望まれない繁殖で増えた野良猫の苦情・相談が年間約300件寄せられており、毎年約80匹の猫が、けがや病気によって収容されています。

なぜ猫は増えすぎてしまうのか？

猫は生後半年ほどで妊娠でき、1年に2～3回、1回に4～8匹の子猫を産むため、1匹の母猫から1年で20匹以上に増えることもあります。猫が増えすぎることで、ふん尿や鳴き声などによる生活環境への影響が生じ、地域のトラブルにつながることも。

不妊・去勢手術は、猫の過剰繁殖を防止し、トラブル解決につながるだけでなく、発情ストレスの軽減や病気の予防など、猫自身の健康にも効果があります。

ねこの未来を にゃんとかすっぺ



問 動物愛護センター ☎681-1210

わんにゃんポートの取り組み

山形市では令和2年から、【ガバメントクラウドファンディング「にゃんこ」と「私」の共同宣言～不妊・去勢でにゃんとかすっぺ～】を実施し、いただいたご寄付を財源として、野良猫の不妊・去勢手術費の補助を行っています。

皆さまのおかげで、これまでに約2,300匹の猫の手術が行われ、地域では手術済みの印として、桜の花びらのように耳カットを行った「さくら猫」も多く見られるようになりました。

「猫のために何かしたい」そんな方はぜひ、ガバメントクラウドファンディングにご参加ください。

皆さまの温かいご支援をお待ちしています。

期間：11月5日㈭まで

詳しくは、こちら



東北唯一の産地！

山形セルリー

問 農政課（☎内線455）

東北唯一の「セロリ」産地

山形市では、セロリをフランス語読みで「セルリー」と呼び、ブランド化を進めてきました。2018年には全国の産地の中で初めて、国の地理的表示（GI）保護制度に登録。その歴史は1968年にさかのぼり、若手生産者が栽培に挑戦し、試行錯誤を重ね、現在のような産地へと育ちました。

パリッとした歯ざわりが自慢

大株の「とのセルリー」はシャキシャキ、小株の「ひめセルリー」は肉厚で甘くクセがなく、どちらも苦みが少ないのが特徴。「セルリーが嫌いでも食べられる」と評判です。近年はハウス団地化により新規就農者も増え、次世代への技術継承も進んでいます。

おうちで楽しむ食べ方

①**生でサラダ**…苦みが少なく、シャキシャキとみずみずしいです。

②**漬物**…茎を拍子木切りにして調味液に漬ければ、約1日で完成。

③**きんぴら**…茎と葉をいっしょに使えます。

④**つくだ煮・煮物**…残った葉もおいしく使いきれます。

旬は5月末～6月、10月末～11月の年2回。市内の直売所やスーパーで、ぜひお試しください。